

中間標準レイアウト仕様の作成手順及び概要

(株)日立製作所
2011年12月15日

<概要>

旧システムから取り出したデータを新システムで使用するために用いる、中間標準レイアウトのデータ形式を標準化します。

<作業方法>

(1) 中間標準レイアウトの対象項目

一部のベンダーの現行中間レイアウトにしか存在しない独自項目は、原則として中間標準レイアウトの項目から除外します。

(2) 対象項目における標準化内容

① 項目名称

データの内容としては他ベンダーと共通であるが、項目名称が異なる場合は、最も一般的な項目名称を採用します。

② データ型

データ型がベンダー間で異なる場合は、最も共通的に使用されると考えられるデータ型を採用します。

③ 桁数

桁数が他ベンダーと異なる場合は、原則として最大桁数を採用します。

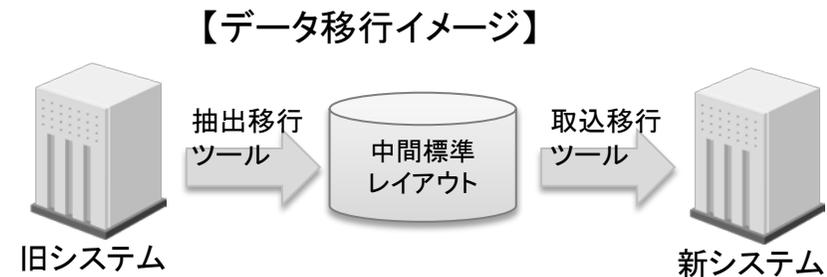
④ その他の属性情報

最も共通的に使用されると考えられる形式を採用します。

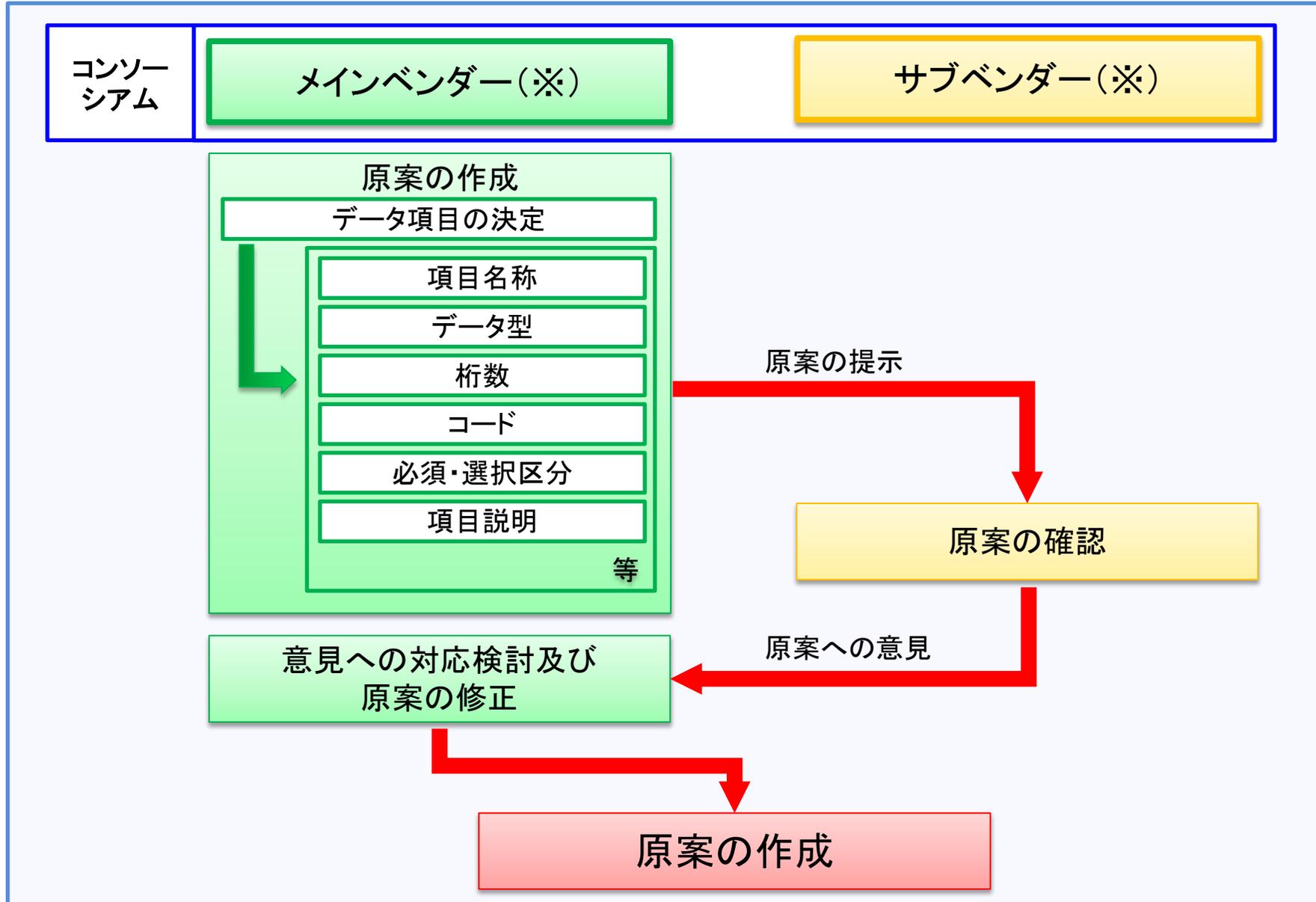
(3) その他

XMLに対応可能となるよう定義します。

(XMLとはデータの構造等を記述するため形式の一つであり、XMLに対応することで拡張性・互換性が見込まれます。)

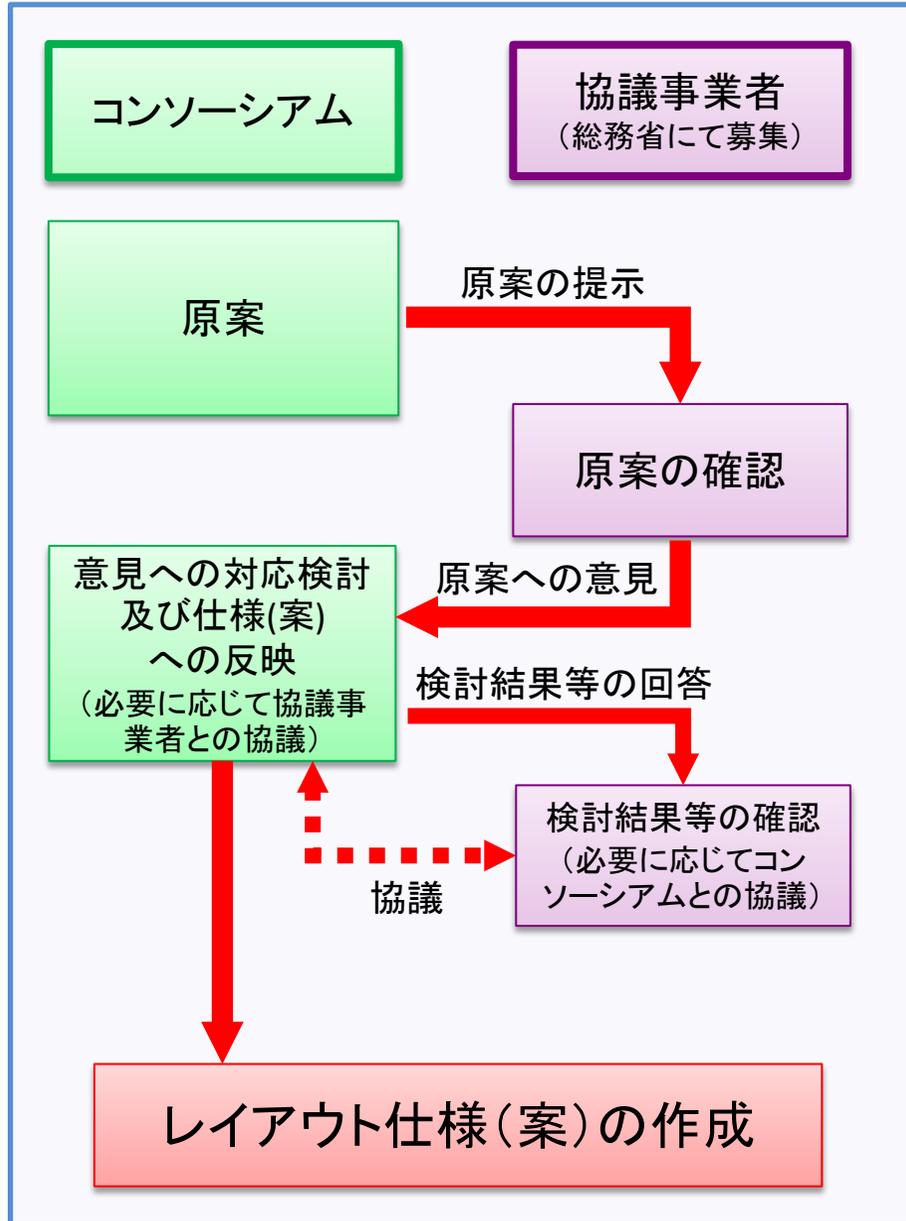


中間標準レイアウト仕様(案)の原案の作成

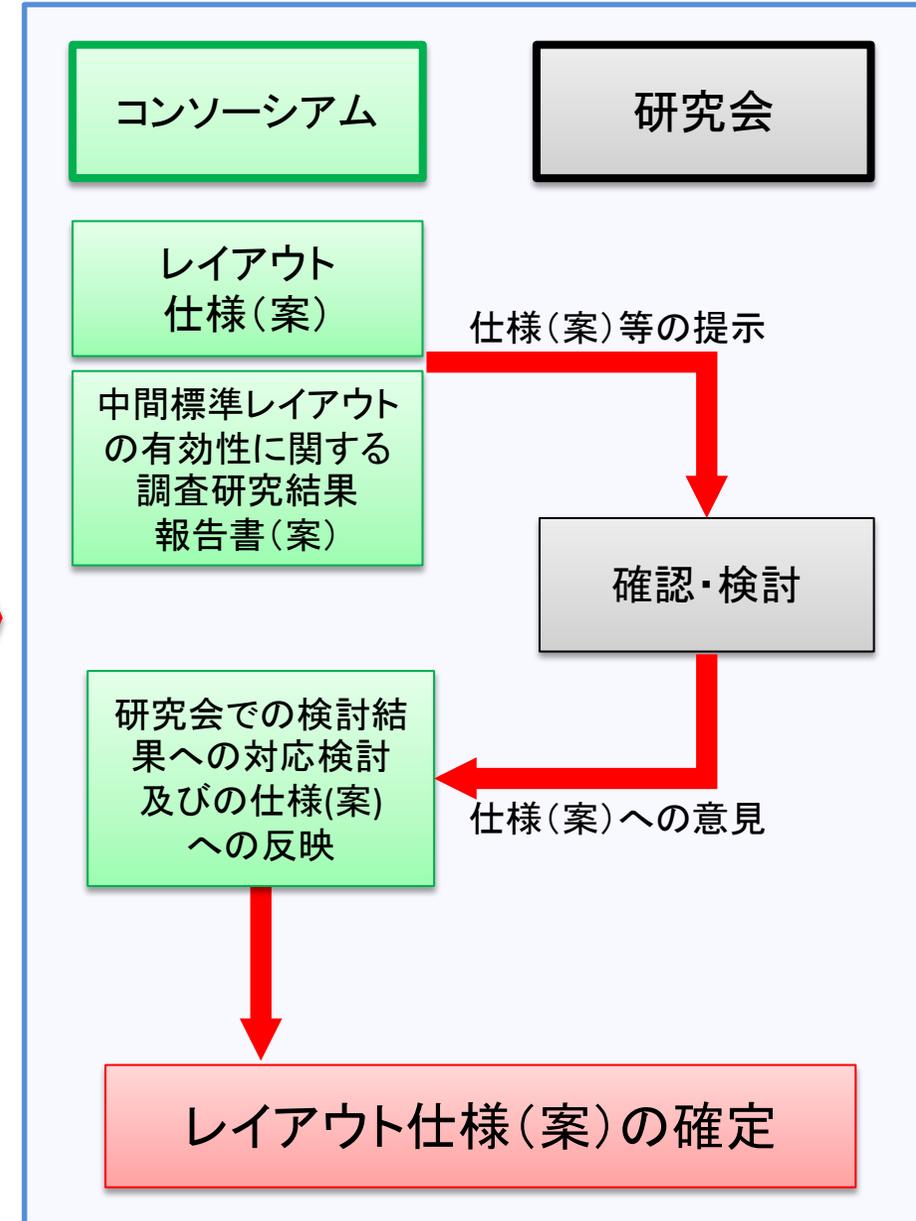


(※)メインベンダー／サブベンダーは業務システムごとに分担します。

中間標準レイアウト仕様(案)の作成



中間標準レイアウト仕様(案)の確定



<中間標準レイアウト作成のイメージ(例)>

(1) 中間標準レイアウトの対象項目

A社現行レイアウト				
項目名称	データ型	桁数	区分	備考
宛名番号	半角	9	必須	
氏名	全角	20	必須	
通称名1	全角	20	選択	
通称名2	全角	20	選択	
住所	全角	50	必須	

B社現行レイアウト				
項目名称	データ型	桁数	区分	備考
宛名番号	半角	9	必須	
氏名	全角	20	必須	
通称名	全角	20	選択	
(存在しない)				
住所	全角	50	必須	

A社独自の項目は中間標準レイアウトの項目に含めない

(2) 対象項目における標準化内容

A社現行レイアウト例(事業者名フリガナ)

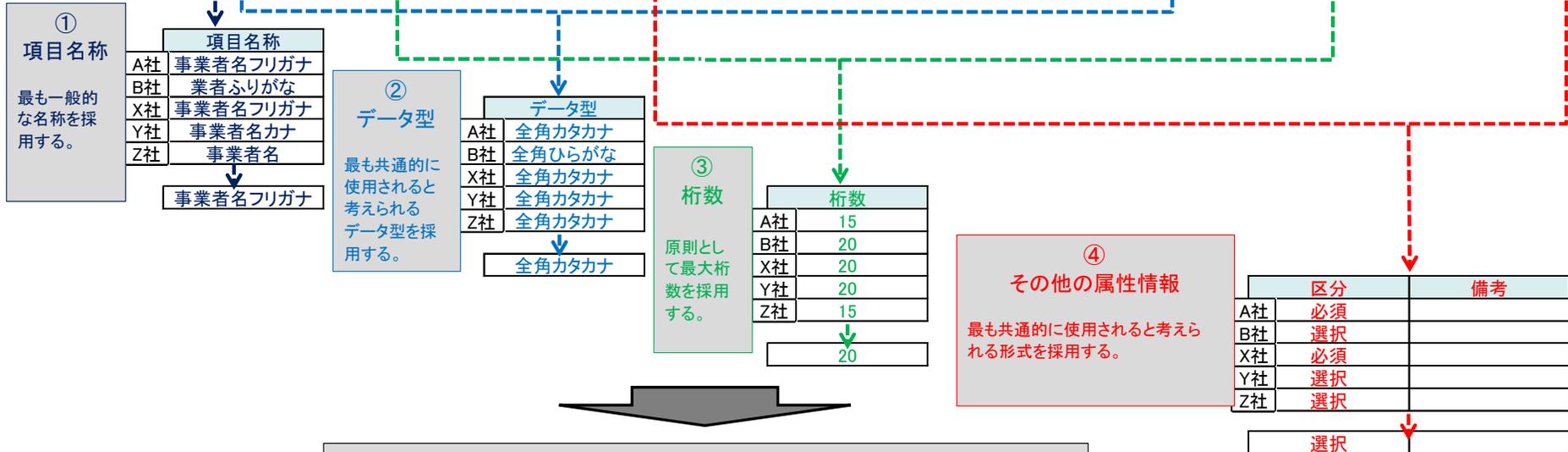
カ ブ シ キ ガ イ シ ャ イ ロ ハ

① 項目名称	② データ型	③ 桁数	④ 区分	備考
事業者名フリガナ	全角カタカナ	15	必須	

B社現行レイアウト例(業者ふりがな)

か ぶ し き が い し ゃ い ろ は

① 項目名称	② データ型	③ 桁数	④ 区分	備考
業者ふりがな	全角ひらがな	20	選択	



中間標準レイアウト(イメージ)

カ ブ シ キ ガ イ シ ャ イ ロ ハ

項目名称	データ型	桁数	区分	備考
事業者名フリガナ	全角カタカナ	20	選択	

第1回研究会資料より

下記の対象とする業務システムごとに、中間標準レイアウト仕様(案)を作成します。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 住民基本台帳 | 12. 国民健康保険 |
| 2. 印鑑登録 | 13. 国民年金 |
| 3. 住登外管理 | 14. 介護保険 |
| 4. 戸籍 | 15. 後期高齢者医療 |
| 5. 就学 | 16. 健康管理 |
| 6. 選挙人名簿管理 | 17. 子ども手当 |
| 7. 固定資産税 | 18. 生活保護 |
| 8. 個人住民税 | 19. 障害者福祉 |
| 9. 法人住民税 | 20. 財務会計 |
| 10. 軽自動車税 | 21. 人事給与 |
| 11. 収滞納管理 | 22. 文書管理 |

上記業務の個別の定義については、法定業務の範囲や地域情報プラットフォームの対象業務等を踏まえつつ、必要に応じ別途定義を行います。

● 中間標準レイアウト仕様(案)のイメージ例

項番	項目名称	データ型	桁数	コード、区分	必須、選択区分	繰り返し回数	外字	項目説明
1	識別番号	半角文字	15		○	1		個人に統一して振られる番号
2	氏名	全角文字	105		○	1	○	住民基本台帳の氏名
3	性別	半角文字	1	性別	○	1		住民基本台帳の性別
	...							

上記のデータ項目の一覧以外に、コードに関する一覧表及び、データ項目をXML化した成果物を作成します。

● 中間標準レイアウトの有効性に関する調査報告

中間標準レイアウトの活用による効果について整理を行い、中間標準レイアウトの有効性に関する調査研究として取りまとめを行ないます。

スケジュール(予定)

